

[添付資料①]

《経路選択等に関するお役立ち情報》

【山陽自動車道・中国自動車道】

特に、8月13日は、神戸JCT(神戸市)から広島JCT(広島市)まで山陽道経由の場合、朝から夜頃にかけて、武田山TN付近(広島県広島市)で20km、入野TN付近(広島県東広島市)で10km、篠坂PA付近(岡山県笠岡市)で10km、笠井山TN付近(岡山県岡山市)で5km、清水TN付近(兵庫県赤穂市)で5km、書写第一TN付近(兵庫県姫路市)で5kmの交通集中渋滞がピーク時に発生すると予測しており、各渋滞を通過するのにピーク時は15分から1時間程度かかると見込んでおります。

神戸JCTから広島JCTまで中国道経由の場合、ピーク時5km以上の交通集中渋滞が発生しないと予測しております。山陽IC以東から広島JCT以西へ向かわれる方は中国道経由もご検討ください。

なお、中国道経由の場合、夜間約140km先まで給油できない箇所がありますので、燃料切れには十分ご注意ください。(最長給油所間距離 中国道経由:七塚原SA～勝央SA間137km,山陽道経由:吉備SA～龍野西SA間65km) 詳しくは、(<http://www.w-holdings.co.jp/gasoline/260701west.pdf>)をご覧ください。

(8月13日に山陽道と中国道の下り線(神戸JCTから広島JCTまで)で予測しているピーク時5km以上の渋滞)



過去のお盆期間(平成23年～25年)の実績では、広島JCT(広島市)を出発し、山陽道経由で神戸JCT(神戸市)まで走行(293km)した場合、順調時は3時間程度で到着できていましたが、日中時間帯(8時～19時)に事故等による渋滞の影響を受けた時は最長で7時間程度かかりました。

一方、同一区間を同時刻に出発し、広島北JCTから中国道経由で走行(329km)した場合、順調時は4時間程度と山陽道経由より1時間程長くかかりましたが、渋滞等の影響を受けた時でも、最長で5時間程度で到着できており、山陽道経由より2時間程度早く到着できていました。

広島JCT⇄神戸JCT間は、中国道経由と山陽道経由、どちらが早い？



※所要時間は道路に設置した車両感知器で計測したH23～25年 お盆期間(各年5日間)の合計15日間の速度データを集計したもので、SAやPAでの休憩を含まない時間です。実際の走行時には、こまめな休憩を取って、規則速度を守ってご走行ください。また、計算による最短値を「順調時」と表記しております。

《広島 IC から広島空港へ向かわれる方へ》

山陽道で広島 IC から広島空港最寄りの河内 IC まで(39km)走行した場合、過去のお盆期間(平成 23 年～25 年)の実績では、順調時 30 分程度で到着できていましたが、10km 程度の渋滞が発生した場合は最大 1 時間程度、20km 程度の渋滞が発生した場合は、最大で 2 時間程度かかりました。

